

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年8月23日(2018.8.23)

【公開番号】特開2018-108991(P2018-108991A)

【公開日】平成30年7月12日(2018.7.12)

【年通号数】公開・登録公報2018-026

【出願番号】特願2017-252237(P2017-252237)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 K 8/35 (2006.01)

A 6 1 K 8/81 (2006.01)

A 6 1 K 8/898 (2006.01)

A 6 1 K 8/85 (2006.01)

A 6 1 K 8/64 (2006.01)

A 6 1 K 8/31 (2006.01)

A 6 1 K 8/37 (2006.01)

A 6 1 K 8/89 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 8/34

A 6 1 K 8/35

A 6 1 K 8/81

A 6 1 K 8/898

A 6 1 K 8/85

A 6 1 K 8/64

A 6 1 K 8/31

A 6 1 K 8/37

A 6 1 K 8/89

A 6 1 Q 19/00

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月27日(2018.6.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被膜形成対象物の表面に被膜を形成する被膜の製造方法であって、

前記被膜形成対象物に組成物を直接に静電スプレーして繊維を含む堆積物からなる被膜を形成する静電スプレー工程を具備し、

前記組成物が、以下の成分 (a)、成分 (b) 及び成分 (c) を含み、

前記組成物における前記成分 (a) の含有量は 50 質量% 以上であり、

前記組成物における前記成分 (b) の含有量は 6 質量% 以上 40 質量% 以下である、被膜の製造方法。

(a) 水、アルコール及びケトンから選択される 1 種又は 2 種以上の揮発性物質。

(b) 被膜形成能を有する水不溶性ポリマー。

(c) 20 で液体の油及びポリオールから選択される 1 種又は 2 種以上を含有する液剤

。

【請求項 2】

前記被膜は、構成する前記繊維の表面側に、前記成分 (c) が存在する液剤担持被膜を有している、請求項 1 に記載の被膜の製造方法。

【請求項 3】

前記被膜あるいは噴霧用組成物における、前記成分 (b) と前記成分 (c) の合計量に対する前記成分 (c) の質量比 $((c) / ((b) + (c)))$ の値が、0.05 以上 0.75 以下である、請求項 1 又は 2 に記載の被膜の製造方法。

【請求項 4】

前記成分 (c) が、炭化水素油、エステル油、シリコン油、高級アルコール、及びポリオールから選択される 1 種又は 2 種以上の物質である、請求項 1 ないし 3 のいずれか一項に記載の被膜の製造方法。

【請求項 5】

前記静電スプレー工程において、静電スプレー装置を用いて前記被膜形成対象物に前記組成物を静電スプレーして、繊維の堆積物からなる被膜を形成し、

前記静電スプレー装置が、前記組成物を収容する容器と、前記組成物を吐出するノズルと、前記容器中に収容されている前記組成物を前記ノズルに供給する供給装置と、前記ノズルに電圧を印加する電源とを備える請求項 1 ないし 4 のいずれか一項に記載の被膜の製造方法。

【請求項 6】

前記被膜形成対象物がヒトの皮膚の表面である請求項 1 ないし 5 のいずれか一項に記載の被膜の製造方法。

【請求項 7】

成分 (a) が成分 (a1) エタノール、イソプロピルアルコール、及びブチルアルコールから選ばれる 1 種又は 2 種以上と成分 (a2) 水とを含有する請求項 1 ないし 6 のいずれか一項に記載の被膜の製造方法。

【請求項 8】

成分 (c) が、炭化水素油、エステル油、シリコン油、及びポリオールから選択される 1 種又は 2 種以上である請求項 1 ないし 7 のいずれか一項に記載の被膜の製造方法。

【請求項 9】

前記組成物は 20 で液状であって、前記繊維は前記液状の組成物が静電スプレーされて形成される請求項 1 ないし 8 のいずれか一項に記載の被膜の製造方法。

【請求項 10】

前記被膜形成対象物がヒトの皮膚であって、被膜は被膜の形成後に被膜を通して皮膚の色を視認できる透明又は半透明である、請求項 1 ないし 9 のいずれか一項に記載の被膜の製造方法。

【請求項 11】

前記被膜を形成する繊維が連続繊維である請求項 1 ないし 10 のいずれか一項に記載の被膜の製造方法。

【請求項 12】

前記被膜は、形成する繊維の交差する部分における結合部を含む請求項 1 ないし 11 のいずれか一項に記載の被膜の製造方法。

【請求項 13】

成分 (a) が (a1) エタノールと (a2) 水を含み、成分 (b) が完全鹸化ポリビニルアルコール、部分鹸化ポリビニルアルコール、ポリビニルブチラール樹脂、(アクリル酸アルキル・オクチルアミド) 共重合体、オキサゾリン変性シリコン、ポリエステル、及びツエインから選ばれる 1 種又は 2 種以上であり、成分 (c) が炭化水素油、エステル油、シリコン油、及びポリオールから選ばれる 1 種又は 2 種以上である請求項 1 ないし 12 のいずれか一項に記載の被膜の製造方法。

【請求項 14】

前記静電スプレーの装置が、ヒトの手で把持可能な静電スプレー装置又はヒトの手で把持可能なスプレーノズルを備える操作部を有する静電スプレー装置である請求項 1 ないし 13 のいずれか一項に記載の被膜の製造方法。

【請求項 15】

以下の成分 (a)、成分 (b) 及び成分 (c) を含む組成物であって、
前記組成物における前記成分 (a) の含有量は 50 質量% 以上であり、
前記組成物における前記成分 (b) の含有量は 6 質量% 以上 40 質量% 以下であり、
被膜形成対象物に直接静電スプレーして、繊維を含む堆積物からなる被膜を形成するために用いられる組成物。

(a) 水、アルコール及びケトンから選択される 1 種又は 2 種以上の揮発性物質。

(b) 被膜形成能を有する水不溶性ポリマー。

(c) 20 で液体の油及びポリオールから選択される 1 種又は 2 種以上を含有する液剤

。